

応募シート

応募者名			年齢	歳
住所	〒	電話		
		メール		
所属(学校名)			学年	年
グループ名 <small>(※個人応募の場合は不要)</small>				
保護者名	(印)			
プロジェクト タイトル				
*自分がめざす 夢の概要				
*動機または背景 <small>(なぜこの夢を実現したいか)</small>				
*具体的な 取組活動 <small>(夢に近づくため今年度に取り 組む具体的な活動を記載 してください)</small>				
*将来の展望 <small>(来年度以降どのように 取り組むのか)</small>				

※枠が足りない場合は、A4用紙4ページ以内にまとめて提出いただいても結構です。

応募シートは、下記アドレスからダウンロードできます。
<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/m0329700008.htm>

応募フォーム(スマホ用)▶
 スマホからも応募できます。



詳しくはHPをご覧ください。

みえの子ども夢実現応援プロジェクト



お問い合わせ

〒514-8570 津市広明町13番地 三重県子ども・福祉部少子化対策課 太田・井戸

TEL. 059-224-2269 FAX. 059-224-2270

E-mail shoshika@pref.mie.jp

(キリトリ)

みえの
子ども

夢★実★現

応援
プロジェクト
PROJECT

夢かなえたい人! 集まれー!!

小学生・中学生・高校生の夢実現へ、
 最大20万円を支援します!



で
かなえ

あの夢
かなえたいな!

応募締切

2018

7/2

[月]

みえの子ども 夢★実★現 応援 PROJECT

このプロジェクトって何？

ワクワクすることに挑戦してみたいと思っていたんだ！
将来の夢が決まっているが支援や協力がないので難しいかな・・・など
みえの子どもたちが持つ夢の実現を三重県の企業、団体、各種専門家などが応援するプロジェクトです。



- 応募資格** 県内の学校に通学、又は県内に居住する児童生徒等
※小学生から高校生までの子どもを対象とします。
- 応募単位** 1人または1グループで複数件応募することも可能です。
- 応募締切** 平成30年7月2日(月)
- 応募内容** 「将来進みたい分野(料理、芸術等)を勉強してみたい」、「地域を盛り上げるイベントを仲間とともに起こしたい」など創意あふれる熱い思いをもとに、子どもたち自身が考え、夢の実現に向けた具体的な取組を募集します。
- 応募方法** 応募シートに必要事項を記入のうえ、下記の三重県子ども・福祉部少子化対策課まで郵送又はFAXなどで送付してください。
応募シート下にあるQRコード(スマホ用)もご利用いただけます。
- 採択方法** ①書類審査 県庁内で応募者の中から校種等に関係なく書類選考を行い、5件程度を選定します。
②最終審査 みえ次世代育成応援ネットワーク*運営委員等の各種専門家等で構成する審査会で、応募者と直接面談し、採択者3件程度を決定します。
※子ども子育て家庭を応援する組織で、現在約1550の企業団体が会員となっています。
- 審査基準** 独創性、将来性、熱意、実現可能性などを総合的に審査します。
- 夢実現へ** 採択した子どもたちは、各種専門家の指導・助言等を得て、夢実現に向けてブラッシュアップを図っていただき、**最大20万円を限度に物的支援***等を行います。
その支援を得て2019年2月末までに取組んでいたいただきます。
【注意:直接、採択者に資金を渡すことはしません】
年度末には、夢を実現した子どもたちによる実践報告会を開催します。
また、みえの子どもたちのロールモデルとなるように各種情報発信を行います。
※物的支援とは…講師代・旅費・会場費・材料等のことです。



スケジュール



注意事項 応募シートの返却はいたしません。また、審査全般についての個別の問い合わせには応じかねます。
ご提出いただいた個人情報については、個人情報保護の重要性を深く認識するとともに、適切に取扱います。

※みえ次世代育成応援ネットワークとは、子ども子育て家庭を応援する組織です。現在、約1,550の企業や支援団体が会員となっています。
(平成30年4月現在)

例えば、こんな夢を実現したいな！

地元食材をつかったB級グルメをつくりたい。

被災地に緑をふやすため環境保護活動をした。

中国で少林寺拳法の修行にいきたい。

地域を舞台にした映画をつくりたい。

空き家を活用して、移住の拠点にしたい。

サンショウウオを守る研究をしてみたい。

外国で開催されるダンスコンテストに出場してみたい。

オリンピックで日本代表になりたい。

国際ボランティアに参加したい。

音楽あふれるまちをつくりたい。

スペシャルサポーター



孫正義育英財団一期生
矢口 太一
yaguchi taichi

経歴

小学校5年生よりセミの研究に取り組む。
2015年 第59回日本学生科学賞 内閣総理大臣賞、同賞三重県展 三重県知事賞を受賞。受賞後、秋篠宮同妃両殿下に研究発表。
2016年 Intel ISEF(インテル国際学生科学技術フェア) 日本代表。
2017年7月より孫正義育英財団 財団生。東京大学工学部に推薦入学し、現在は教養学部理学科一類に在籍。三重県出身。

メッセージ

私がセミの研究に出会ったのは小学校5年生の時です。自分の決めた道を信じて、一生懸命に取り組んできました。まだまだやりたいことがある。ワクワクすることがあるから。私は挑戦を続けます。あなたの「ワクワクする」ことは何ですか？その答えがあるのなら、悩んでいないで、挑戦してみませんか？私たちは熱い想いをもった皆さんを応援しています。



2018年ミスユニバースジャパン
加藤 ゆうみ
kato yumi

経歴

5歳からマレーシアで育つ。13歳で現地の学校でいじめに会い引きこもりになったが、14歳で親元を離れ、島暮らしをすることで人との関わりを持てるようになる。16歳で日本に一時帰国。茶道の家元で内弟子として修行。18歳でマレーシアに戻り、ハラル認証を取得。19歳でモデルを始める。
現在、マレーシアと日本で活動中。マレーシアでは女優、日本ではタレントとして「天才!志村どうぶつ園!」に出演。2018年に三重県代表としてミスユニバースジャパンに出場し優勝。

メッセージ

今、私は日本語の使い方やミスユニバースにチャレンジしています。どんなことにも最高の努力をし、そしてできるだけ身に付けるべきだと思います。目標は人それぞれ違い、勉強、部活など色々ありますが、私も皆さんと同じように、目標に向けて探りながら必死に頑張っている途中です。人生一回きり、チャレンジしないと後悔するかも!!一緒に目標に向けて最高の努力をしましょう!



スポーツクライミング日本代表
田嶋 あいか
tajima aika

経歴

クライミングを始めたきっかけはみえこどもの城で10歳でした。
2013年 IFSC世界ユース選手権セントラル・サーニッチ2013優勝。
2014年 クライミング日本選手権優勝。
2015年 第10回ボルダリング・ジャパンカップ優勝。
同年第29回リード・ジャパンカップ優勝。
2017年 えひめ国体 成年女子リード2位。
現在、慶応大学在学中。三重県出身。

メッセージ

私は9年間クライミングをしています。ハードな練習やケガなどつらいこともありますが、辞めたいと思った事は一度もなく、毎回楽しんで練習をしています。夢を叶えるには、その過程で楽しさを見出すことがとても重要だと思います。夢実現応援プロジェクトを通して、皆さんが楽しみな夢を叶えることができるよう応援しています。

みえの子ども応援プロジェクト第3期協賛者

情報システム・J・T(株)、三重日産自動車(株)、井村屋グループ(株)、岡三証券(株)津支店、JAグループ三重、(株)百五銀行、(株)三重銀行、(株)第三銀行
三重県職員信用組合、三重県信用金庫協会、三重交通グループホールディングス(株)、(株)ZTV、福道建設(株)、学校法人高田学苑、エイベックス(株)
アポロ興産(株)、有限会社たましん、(株)赤福、御木本製菓(株)、第27回 日本外来小児科学会年次集会

紙面の都合上、一定額以上の協賛者を掲載させていただきました。詳細は、子ども・福祉部のHP(<http://www.pref.mie.lg.jp/D1KODOMO/>)をご覧ください。